

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年5月31日

第339号 Tel 03-3261-9007
本号5号 Fax 03-3261-5453

比例定数 80 削減反対！国民の声が届く国会へ！

5・30学習決起集会に 100 人余

11 団体が呼びかけた「比例定数 80 削減反対！国民の声が届く国会へ！5・30 学習決起集会」が5月30日夜、全労連会館 2F ホールで開催されました。

集会には 100 人余が参加しました。

冒頭、笠井貴美代新日本婦人の会会長が開会あいさつ。小部正治自由法曹団幹事長が基調報告を行いました。小部幹事長はこの中で、一昨年9月の学習決起集会以来の運動で、一見困難な課題が国民に浸透し、世論の変化と国会内の動きがひびきあう関係が生まれ、今や18年ぶりに小選挙区制見直しのチャンスが生れていることに言及しました（基調報告骨子全文は別掲）。

国会情勢報告を行った穀田恵二日本共産党国会対策委員長は、4月25日の各党協議会で樽床座長（民主党幹事長代行）が提出した「私案」の問題点、その後、舞台が「書記局長・幹事長会談」に移ったことなどを報告。中選挙区制議連に関連する新しい動きとして、自党内に中選挙区制を検討する恒常的な委員会が同党の各派閥の中心人物（長）が参加して作られ、動き出しつつあることを報告しました。そして11団体や広範な人びととの国会内外の連携を強めてたたかいぬくことを表明しました。

小沢隆一憲法研究者・東京慈恵会医科大学教授が講演しました。小沢教授は一昨年の学習決起集会で小選挙区制こそが政党を墮落させ、政治家を劣化させたことを解明、これがその後の運動の強い支えとなりました。今回の講演では、1年半の間に展開された選挙制度をめぐる論戦の特徴を概括し、小選挙区制によって生れた「選挙互助会」政党のジレンマなどを解明しました。そのうえで、憲法が要請する選挙制度のあり方について、住宅になぞらえて、「基礎」となる基本原理、「基本設計」に当たる制度原理、「造作」にあたる選挙制度と設定して、この間明らかにされている選挙制度改革案について述べました。「0増5減」などの区割り変更が基本設計をかえるものでないこと、「連用制」が現行制度の基本設計を前提にしたものであることなどと分析。国民主権という「基礎」、比例代表中心という「基本設計」、憲法の要請に応え、生かす「造作」を探求し、安心して住み続けられる住宅のような選挙制度の展望を語りました。

決意表明では、地元四谷駅宣伝や地元国会議員への要請などの活動を進めている東京法律事務所の今泉義竜弁護士、消費税増税反対の運動を全国各地でたたかい、連日のように国会行動を展開している全商連の今井誠常任理事、医療や介護の改悪とたたかう全日本民医連の吉田万三副会長、子ども子育て新システムの本質を明らかにし、子どもと若い母親の声が国会に届くような選挙制度にと全教・長尾ゆり副委員長が訴えました。

行動提起をかねた閉会あいさつを柴田真佐子全労連副議長が行いました（行動提起全文は別掲）。

1 ピンチをチャンスにしてきた

(1) **ピンチ**：政府・民主党はマニフェストで公約、閣議決定したこと及び消費税導入前に国会議員が「身を切る」ことに固執し、輿石幹事長も樽床私案（4月25日付け）と同様、「0増5減」及び比例定数削減75減を押しつけようとしているピンチ

…国民の声を国会から排除し、いっそう民意を反映しない国会の永続化で、消費税増税やTPP・原発維持、軍事大国化の押しつけ、そして憲法9条の改悪を可能にしようとしている。

(2) **チャンス**：小選挙区制（現行制度）導入後18年にして初めて、その弊害が顕在化し、選挙制度の抜本的改正を求める声が国会内外に大きく広がりつつあるチャンス

…小選挙区制を廃止して、民意の反映する国会を…一票の格差の根本的な是正＝完全比例制・選挙区制の実現を求める要請が国会議員に「打てば響く」情勢に

2 私たちの運動が情勢を切り開いてきた

1年半の経緯を振り返って…11団体の取り組みと出来事

(1) 10年 9/29 「削られるのは民意！比例定数削減反対9・29学習決起集会」
全国教育文化会館 主催9団体

民主党が比例定数削減を強行しようとしている…どう阻止するのか

スローガン 「比例定数削減反対」…悲壮感・悲観的見方

・11年 3/11 東日本大震災・原発放射能事故

これまでの政治の在り方・「安全神話」に対する疑問の声が多数派に

→真の復興には原発をなくすには国民の声が届く国会を…徐々に増えていく

・11年 3/25 最高裁一票の格差違憲判決

単なる比率にとどまらず「1人別枠制」の意見を明記

→小手先の手直しではなく「現行制度」の抜本改正を求める声が徐々に

「投票価値の平等」は得票率が政党の議席に反映した選挙制度こそ実質的な平等である

…但し、マスコミは形式的な格差是正を迫り、国会や政府を批判する

(2) 11年 6/9 「労働者・国民の声を国会から締め出す比例定数削減に反対する大集会in東京」なかのZEROホール 主催・実行委員会 1100人参加

参加団体の要求の実現を阻む現行制度…このテーマで多くの人が集まった確信

…比例定数削減反対、国民の要求が実現する国会へ

・11年秋、「衆議院選挙制度に関する各党協議会」開始（10/19第1回会議）

民主党を除く全党が、比例定数80削減に反対し、選挙制度の抜本改正を求める

・11年 10/8 朝日（細川元首相 v s 河野洋平対談）

小選挙制の創設者の反省…11年 朝日新聞等

「2大政党制」への幻滅（政党の墮落）、政治家の劣化

・11年 11/17 「中選挙区議連」の発足

「小選挙区制」の恐ろしさ…「マニフェスト」、「マスコミ」及び「風」で決まる当落…

1 8年間の経験・苦労が爆発

- ・政治家個人の魅力や能力で当選が決まらない恐ろしさ…地盤・看板・カバンは昔の話…政治家個人の信条や族議員（専門分野）、地元への貢献、後援会も無意味？
 - ・小泉選挙の「刺客」・「小泉チルドレン」「小沢チルドレン」の当選
次は「民主」でも「自民」でも当選はできないかも…風が吹きそうにない
 - ・中堅・ベテラン議員の「存在価値」の下落…「党中央」の「統制」選挙
・議員及び秘書は、落選したら失業の憂き目にあう
 - ・大阪・維新の会及び橋下市長の活躍・報道
- 2 大政党制度で吸収できない政治勢力の顕在化
→既成政党に対する批判・支持離れ

(3) 12年 2月2日 「『身を切る』を斬る！小選挙区制はもういらぬ！比例定数削減反対・民意が届く選挙制度で国民の声を国会へ！2・2院内集会&議員要請」 主催11団体 院内集会（220人参加…院内集会最大）

- ・「身を切る」論への反撃…「課税府のノダ」リーフ 56万部発行
- ・原発・消費税・TPPなどこんな政治はごめんと国民の怒りの拡大
- ・「連用制」の問題点（自由法曹団意見書）
スローガン（国会要請事項）
①小選挙区制の廃止、②比例定数削減80反対、③国民の声が届く選挙制度
- ・議員要請が面白い…議員が会う、お茶が出る、秘書が賛同・笑顔
自民党などは中選挙区制に戻せ…①、②、③とも一致する
少数政党は、比例部分の増大を主張…①、②、③との大方一致する
- ・民主党の樽床私案1、2に対する反発はさらに強くなる
→3月1日、3月30日、4月18日と日をおうごとに国会要請への反応が良くなっている

3 チャンスを活かそう…確信を持って、危険性を認識しつつ

(1) 小選挙区廃止・抜本改正を握って離さず

- ・小選挙区制は廃止できるのでは
- ・11ブロックの比例制こそ
- ・3人区の中選挙区制をどう阻止するか、最悪5人以上の選挙区制を

(2) 「一票格差是正」を口実とする先食いを許すな

- ・解散権を確保する、解散を実施させるで「民」「自」は一致
- ・消費税で一致すれば、この定数削減も一致するかも（例えば「10」でも）
- ・「0増5減」→「比例定数削減」→「抜本改正」（5月28日朝日社説）
- ・次に強行される見込みの「比例定数削減」を許さず、「抜本改正」の要求を容れた動きを創ろう

(3) 行動提起

別項（閉会あいさつ）

以上

5・30 学習決起集会 行 動 提 起

2012年5月30日 全労連会館2F ホール

野田首相は「何としても消費税増税関連法案の衆院採決前に（議員定数削減の）結論をださなければならない」と繰り返し語っています。消費税大增税、社会保障切り捨での「税と社会保障一体改悪」強行のために「身を切る」とする比例定数削減は、民主党の私物でもないものに手をつけ、増税反対の声を封じ、国民の声を遮断するという二重三重のごまかしで強行しようとするものです。

政治の墮落、政治家の劣化が小選挙区制によってもたらされていることは広く明らかになってきました。1票の格差是正を口実に小選挙区制を温存する「0増5減」などという取り繕い策は通用しません。比例定数削減許すな、選挙制度の抜本改革を今こそ実現しようではありませんか。

一昨年来の運動が前進してきました。私たちの運動が広がり、国会内の動きとかみ合い、小選挙区制が実施されてから18年にして小選挙区制見直しのチャンスも生れています。

1. 対話・宣伝・署名行動を旺盛に行ないましょう。

リーフレット「課税府のノダ」を使い、対話を広げ、宣伝・署名行動を強めましょう。家族、友人、知人、職場などいろいろなつながりを生かして対話を広げましょう。

「9の日宣伝」だけでなく、あらゆる行動、宣伝、集会などにもリーフレット・署名用紙を持ち込み、どこでもいつでも対話をおこない、世論を変えましょう。宣伝では、リーフの表紙を拡大したプラスターや「のぼり」などグッズも使い、話題をひろげましょう。

2. 学習がカギです。学習会を積極的に行ないましょう。

「学習したら行動、行動したら学習」を掲げ、3人から始めるなど多様な形態・規模で学習会を開催しましょう。講師やテキストの相談にのります。

3. 議員・政党への働きかけを強めましょう。全国各地で、地元国会議員に要請しましょう。また地元から国会にでかけ議員・政党に働きかけましょう。

地方議会に請願し、地方議員への働きかけもおこない、「小選挙区制の弊害は明らか。『0増5減』は小選挙区制温存の道。民意を切り捨てる比例定数削減に反対し、比例代表など国民の声が届く選挙制度への抜本的改革を」などを内容とする意見書、決議の採択を追求しましょう。

当面する国会行動

「税と社会保障の一体改革」反対の国会行動（昼休み集会）が6月6日（水）、13日（水）、20日（水）に行われます。国会に結集しましょう。

11団体としては次の行動を行います。

6日 憲法署名・比例定数削減反対署名の提出

13日 昼休み集会のあと議員要請

4. マスコミは小選挙区制導入に重大な責任があります。反省をもとめるとともに、我われの取り組みなどを報道するように要請しましょう。

※メールニュース「民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減反対！運動情報」を発行中です。情勢を伝え、各地・各団体の運動、経験などを交流しましょう。（情報の集中先アドレス=mail@kenpoukaigi.gr.jp）。

「比例定数削減反対・民意反映の国会へ・選挙制度の抜本改革」の要求掲げ

いのちと暮らしを守れ！6・23 国民大集会

6月23日(土) 明治公園

11:00 文化行事／12:00 開会／13:00 パレード